

# 長命ヶ丘地区社協だより

令和 4 年 9 月発行

長命ヶ丘地区社会福祉協議会

発責:秋保 明

文責:佐藤正人

初秋の季節となり寒暖の差が激しい日もございますが、皆様におかれましてはお元気でお過ごしのことと存じます。さて、令和 4 年度定時総会を去る 5 月 10 日に開催(書面表決方式)し、お蔭を持ちまして提出した議案につきましては全てご承認いただきました。

未だ新型コロナウイルスの感染が収束せず、長命ヶ丘地区各種団体の諸行事や町内会でのサロン活動など、地域住民が触れ合う機会が一部を除いて中止を余儀なくされておりますが、閉じこもりや外出機会の減少による気力・体力の低下を防ぐうえからも、本会では、感染対策に留意しながら「集いの場」づくりに取り組んで参りますので、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

役員一同

## 研修会兼推進会議を開催致しました

「研修会兼第一回推進会議」を 3 年ぶりに対面方式で開催致しましたが、コロナウイルス感染予防のため、対象者とテーマを分け、6 月 11 日及び 6 月 22 日の 2 回にわたって開催致しました。

町内会長・福祉委員には、長命ヶ丘地域包括支援センター 木島礼子氏より「長命ヶ丘地域の高齢者の状況及び介護保険制度」について、具体的な数値も示しながら長命ヶ丘地区で高齢化が急速に進んでいる実態と、必要な時にいつでもサービスが受けられるよう介護保険制度について分かりやすく説明頂きました。

民生児童委員には、仙台市社会福祉協議会泉区事務所所長代理 相澤 徹氏より「重層的支援体制整備事業(断らない相談支援)」について、日頃から民生児童委員が苦勞している「8050 問題\*」などに関する具体の事例を挙げながら、相談の活用や地域での支え合いの重要性について説明頂きました。

両氏からは、少子高齢化やそれに伴う様々な問題の増加は避けられないものの、町内会でのサロン活動や近隣同士の助け合いなどの取り組みがこれまで以上に大事になっていることも強調されました。

※8050 問題:80 代の親が引きこもりや障害のある 50 代の子を養っているが、貧困や社会的孤立などにより生活破綻の危険性が高い世帯の増加が社会問題となっています



講師 木島礼子氏



講師 相澤 徹氏

## 長命ヶ丘「小学校長・中学校長」様 よりご寄稿いただきました

仙台市立長命ヶ丘小学校 校長 鈴木 淳

4月、38名の新入学児童を迎え、全校児童333名で、令和4年度、本校の教育活動が始まりました。

新型コロナウイルス感染症対策とともに、「学びを止めない」教育活動の展開を念頭に走り始めました。

全校児童の集合はまだできない状況ではありますが、テレビ放送の活用による行事への取組を一つの手立てとして行っています。

「思いやり、助け合う子」とは、本校の目指す児童像の一つですが、活動に制限がある中でも、この児童像に迫る取組を工夫し、できることを探しています。例えば、入学児童のお世話を6年生が朝に行っています。

1年生の教室に入る6年生の人数を減らし、お世話をします。1年生がにこにこしながら関わっている姿が何ともいえません。6年生もうれしそうです。この活動から縦割り活動を昨年度に比べ、拡充して行っています。「愛鐘ロングタイム」と称して一つの班に1～6年生が入った活動班を作り、活動場所は校庭として、接触を伴わない遊びを考えて楽しんでいます。これまで、異学年交流の制限を行っていたところでしたが、感染が落ち着いていた時期に実施しました。他、学年部で分散して行った運動会、6年生の会津若松方面（今年度から）の修学旅行、5年生の泉ヶ岳での野外活動、1～4年生の校外学習と地域との触れ合い活動など、三年目のコロナ下での活動、地域の中で互いに「笑顔の見える」よい取組と学びができればと強く思う所です。

仙台市立長命ヶ丘中学校 校長 菅原 徹

長命ヶ丘地区の各町内会の皆様におかれましては、日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

前任の長沼致弘先生の後任として着任しました、校長の菅原 徹（すがわら とおる）と申します。生徒たちの健やかな成長と更なる活躍を目指し、地域の皆様のお力をお借りしながら、様々な取組を展開して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、令和4年度、本校は「確かな学力と社会性を身に付けた生徒の育成」を重点目標の一つに掲げ、地域への貢献活動を通して、生徒の自己肯定感を育んでいこうと考えております。

未だ収束が不透明なコロナ禍ではありますが、可能な限り感染対策を図り、長命ヶ丘社協の皆様をはじめ、地域の皆様と地域行事を協働しながら、「自分も地域の一員なのだ」という自覚を生徒自身に持たせていきたいと思っています。

先日、仙台白百合学園レジナパースホールを会場に校内合唱コンクールを開催し、全学年の保護者の皆様に参観していただきました。一昨年は中止、昨年は1曲のみの演奏でしたが、今年は各クラス課題曲・自由曲の2曲を披露することができました。また、中総体では女子ソフトテニス部が団体・個人で、卓球男子が個人で、そして水泳部の2人が県大会に進出し、活躍しております。

震災以来、地域での中学生の存在が見直されています。「社会福祉活動」への理解を深め、その存在価値を更に高めていきたいと思っています。今年もご指導をお願いいたします。

## 「長命ヶ丘福祉マップ」 作成いたしました

長命ヶ丘地域包括支援センター・民生児童委員・福祉委員のご協力により、長命ヶ丘町内・近郊にある福祉施設を掲載した「福祉マップ」を作成し、本年3月に全戸配布いたしました。

なお、マップの必要な方は、長命ヶ丘市民センター、ランチ仙台西棟1階「まちづくりスポット仙台」に置いておりますので、ぜひご利用下さい。

